

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

新潟市立大野小学校（新潟県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成

情報スキル・プログラミング能力 目標体系表

学校種 学年	情報スキル			プログラミング能力
	A タイピング	B 操作	C 情報資源活用	D プログラミング
小学校 高学年	☐ 1分間に40字以上 ☐ 全角・半角・英字・数字・記号などを使い分けて入力できる。	☐ 目的や場面に応じて、多様な公共施設やメディアアプリケーションの特性を知り、選択・選択、組み合わせ活用ができる。 ☐ クラウドの基本が分かり、データの保存・管理ができる。 ☐ 表計算の基本機能が分かり、使える。	☐ 多様な公共施設やメディアの特性を知り、選択・活用する。 <施設> 図書館、博物館、美術館 等 <資料> 年鑑、統計資料、年表、新聞 等 ・日本十進分類法 ・奥付、著作権、要旨 情報の整理、図示	☐ 簡単な反復処理のプログラミングができる。 ☐ 簡単な分岐処理のプログラミングができる。 ☐ 簡単な分岐処理のプログラムをフローチャートに表すことができる。
小学校 中学年	☐ 1分間に20字以上 ☐ ローマ字で正確に入力できる。	☐ 各種アプリケーションで、共同編集機能を用いて学習できる。 ☐ Google Workspaceの基本機能を使える。	☐ 公共図書館の利用方法を知り活用する。 ・分類、ラベルの見方 ・国語辞典、漢字辞典、百科事典 ・出典、引用、要約、情報の分類 ・iPadでの電子書籍の借り方	☐ 簡単な順次処理のプログラミングができる。 ☐ 情報処理の手順を図で表すことができる。
小学校 低学年	☐ IDとパスワードの入力 ☐ 簡単な文が打てる。 ☐ タイピングに親しむ。	☐ コンピュータの簡単な操作 ☐ 写真や動画の撮影 ☐ ロイロノートの基本機能の活用	☐ 学校図書館を利用する。 ・図書館のきまり ・レファレンスサービス ・図鑑 ・目次、索引、書き抜く、情報の読み取り、情報の比較 ・iPadでの図書館蔵書検索の仕方	☐ 身近な生活でコンピュータが利用されていることを知っている。 ☐ 簡単なプログラミング的な考え方が使える。

タイピング能力の育成

□低学年からローマ字入力の練習

□隙間時間に進んでタイピングサイトで練習

□日常の授業で、毎日タブレットを活用

このように、生活に溶け込む形で行うことで力が高まっていく。

身に付いたタイピング能力

3年：1分間に 44字以上

4年：1分間に 71字以上

5年：1分間に 97字以上

6年：1分間に 102字以上、学年の目標の倍以上入力する力が付いた。